



広島県議会議員

ま と ば 豊

地域発！こころ豊かなまちづくり！

県政報告

No. 16
2019年1月

事務所

〒720-0067
福山市西町一丁目7-11
TEL 084-973-9770
FAX 084-973-9771

7月豪雨災害の復旧・復興事業等239億4千万余りの補正予算等42議案を可決・認定

広島県2018年7月豪雨災害復興基金条例を制定

12月定例会
12/6~17



広島県議会の12月定例会は、12日間の会期で開かれ、豪雨災害の復旧・復興事業等の「一般会計補正予算」と「2017(平成29)年度決算認定」などの議案審議を行い、42議案を可決・認定並びに同意しました。



7月豪雨による災害に伴う「被災者支援」や「災害復旧・復興事業」等を実施するため、9月補正に引き続き209億円余りの補正、累計2210億円の災害対策費を計上しています。

知事説明



7月豪雨災害からの復旧・復興

被災者の生活支援・再建に向けて「地域支え合いセンター」を13市町で開設。
被災企業支援「グループ補助金」は35グループ699社、約91億円の交付希望があり、追加経費を計上。
農林水産業の復興については、農業用ハウスや機械等の修繕・再整備等を支援。
「ため池」の総合対策は、利用されていないため池の廃止工事着手に向け取り組む。県内全ての「ため池」の利用状況や

管理体制を類型化し、対策を検討。
災害の初動・応急対応について、現在整理・分析して検証中。
「豪雨災害復興基金」として約17億4千万円(1万1千件)の基金制度を創設。
「朝ごはんモデル推進事業」について、11月から廿日市市で実施。
大学進学時の経済的負担を軽減する新たな給付金について定員100名を上回る382人の応募があり、全員に給付するため1億5千万円の補正を計上。
福山駅前活性化については、「事業推進会議」に福山市とともに参画。

〈一般〉

民主県政会質問

私の所属する民主県政会からの質問。

- 山下真澄議員(福山市)
 - 住民の要望を踏まえた鞆町のまちづくりについて
 - 障がい者差別の解消に向けた取り組みについて
 - 電話のバリアフリー化を進める取り組みについて
 - 障がいの種別を問わない県職員の採用選考について
 - 毎月支給の大学等修学奨学金制度の創設について
- 部落差別解消に向けた取り組み
- 東保幸議員(広島市安佐北区)
 - 地方創生の推進について
 - 国際平和拠点ひろしま構想の取り組みについて
- 平和発信の成果について
- 教育課題について
 - 公立学校における持続可能な学校指導・運営について

2015→2019

今立ち止まり、4年前を思い返す。当選確実の報が流れ、初陣勝利の祝福の中お礼を述べた。熱いものがこみ上げてきた。自分自身が政治の道へ！歩み出した瞬間だ。選挙戦で出会った支援者の方々の笑顔や真剣な想いが走馬灯のように頭の中を巡る。その方々の一票一票が勝利に導かせてくれたものである。

選挙は勝つことが恩返しだ。忘れてはならない。

この4年間世界の情勢や秩序、そして、社会的規範は、激しく変様を遂げている。この県政報告のコラム欄を読み返した。『「国会の議論を聞いていて腹が立つ。戦争は絶対だ。孫の時代が不安。」選挙中に出会った女性の声』『2060年の未来予想図』『オバマ大統領の平和公園来訪』『カープ25年振りのリーグ優勝(尊敬する黒田選手とのツーショット)』『田植えと「亀の恩返し」』『トランプ大統領誕生と排他的な自国主義の台頭』そして、『近い人の死』『7月豪雨災害』など私自身の思いを綴った。

世界は今、情報と物流のグローバル化=高速の時代に入り、資本主義経済が生み出した市場経済万能主義が暴走を始め、人間の尊厳さえも踏みじり、その断末魔が聞こえてくる。

良い為政者(リーダー)とは？良い政治とは？自らに課し、問い続けている。「社会経済が生み出した富の再分配機能による経済的平等」「公共社会資本の公的保障」「労働力(生きること)の再生産」「子どもが泣きながら歯を食いしばっている姿にさせない」「違いを認め合う寛容な社会」「平和のための世界的秩序の確立」まだまだ道半ばである。が、この原稿を執筆中にローマ法王の広島・長崎訪問が世界に配信された。2月定例会の一般質問で本会議場において、「ローマ法王の広島訪問」の実現を訴えた。それは、盈進高校の一人の高校生が平和大使としてローマ法王を訪れ、一般謁見においての勇気ある訴え、行動に感銘を受けたことからの県議会質問であった。

その後、支援者の方から「的場さんの質問の中であったローマ法王が全世界の教会に配った『焼き場に立つ少年』の写真が見たい」と連絡が入った。マスコミや行政、原水禁等多方面に問い合わせ、広島市内の教会で入手できた。今事務所に「焼き場に立つ少年の写真(ローマ法王フランシスコ署名入り)」ポストカードが有ります。

～一つずつ一歩ずつ。～

=連合広島第25回定期大会で決意表明！=

☆「広島県議会議員選挙：2019年4月7日(日)投票」に向け、統一自治体選挙「連合広島組織内候補」として決意表明を行う！



2018年11月16日(金)：広島市西区民文化センター

☆Facebook始めました。☆ホームページ更新しました。

活動日誌

10月	10日(水)	災害現場調査（山野町：岩屋権現）
	12日(金)	宮政利広島県議会副議長就任激励会（広島市）
	13日(土)	広島県議会子ども議会（県議会本会議場）
	14日(日)	第61回東学区民大運動会（東小学校）
	17日(水)	中地連自治体議員連合総会（松江市）
	23日(火)	文教委員会現地調査（福島・宮城）～25
	27日(土)	福山市農協職員労働組合定期大会（J A本所）
	28日(日)	建設労働組合福山グランドゴルフ大会（加茂町）
	30日(火)	J A福山市“年金受給者の集い”（リーデンローズ）
11月	9日(金)	広島県私立中学高等学校振興大会（広島市）
	13日(水)	産業競争力強化対策特別委員会現地調査（福岡）～14
	16日(金)	第25回連合広島定期大会（広島市）
	17日(金)	東学区文化祭前夜祭（東小学校体育館）
	18日(日)	東学区文化祭（東小学校）
	19日(月)	退職者会第38回定期総会（みやび）
	21日(水)	自治体議員連合総会（広島市）
	26日(月)	備後地域振興協議会三部会合同会議（福山市） 連合広島福山地域協議会第25回定期総会（みやび）
	29日(木)	広島県私学助成を進める会知事・議長要請（知事室）
12月	6日(木)	広島県日韓親善協会忘年の夕べ（広島市）
	14日(金)	私鉄中国広電支部委員会（広島市）
	16日(日)	N P O福山ろうあ協会忘年会（西公民館）

尾道市議会議員選挙 ～統一自治体選挙後半戦～ 4月14日告示・21日投票予定 やまと重治



市議会議員を
応援しています。
知人・友人の紹介
をお願い致します。

1958年 尾道市に生まれる
1977年 広島県立尾道北高校卒業
1981年 仏教大学社会福祉学科卒業
尾道市役所に就職
2003年 尾道市議会議員に初当選
現在に至る（4期）

やまと重治後援会事務所

〒722-0215
尾道市美ノ郷町三成1892番地2
TEL 0848-20-5083

産業競争力強化 対策特別委員会



《11月13日》

まとは豊質疑 野菜の大規模生産の取り組み状況について、農業振興策も含めて質問する。県内にキャベツの大規模生産をしているところが何カ所あり、生産量と売り上げはいくらかを問う。

答弁 キャベツの大規模生産ですが、県が支援しているのは3社です。3社で1600トン、売り上げにして8200万円程度の売り上げと認識しています。

まとは豊質疑 広島県はお好み焼きが有名で店舗も多い。以前知事も、県内のお好み焼き屋で県産のキャベツを使う仕組みを構築すると言っていたが、需要に対する供給体制が大切である。需要を賄う仕組みを作らなければ目的を達成できないと考えるが、県内のキャベツの消費量と生産量を基にした仕組み作りを対応しているのかを問う。

答弁 県内のキャベツの需要が4万トンぐらいあると推測。それに対して、直近

= 新年度予算要求書を 「湯崎知事」へ提出 =

12月14日湯崎知事に対して、民主県政会所属議員15名で29項目にわたる「2019年度当初予算編成等に関する要望書」を提出しました。

要求項目では、◎7月豪雨災害の早期の復旧・復興◎子育て支援策の充実◎働き方改革◎子どもの教育機会の保障等を具体的な施策や予算確保に向けて要望しました。

「まとは豊」は知事に対し、①教職員の欠員の解消②大学等修学奨学金制度の毎月支給の給付型の創設③学校施設のトイレ洋式化（災害避難所の整備）の早期実現を要請しました。

の数字では5千トン強ぐらい生産を見込んでいますので、計算すると、大体12.6%ぐらい県内のシェアを持っています。2013年の調査では6.9%でしたので、少しずつ確実に拡大しています。

販売状況等々、今後生産拡大をし、J Aグループとも一緒になって必要な仕組みを検討してまいります。

中山間地域で小規模な農家の方が多く、たくさんの種類の野菜を作って所得を上げる努力をしている。私はこれまで、小規模農業を守るために何かの仕組みの構築が必要と言いつつ、地域の再生や県内の食料自給率、キャベツの生産量を上げるためにも、小規模な農業の方も参画できる形を考えることを提案する。

もったいない野菜を使い、カットキャベツ工場に量（kg）で納め、お好み焼き用のカットキャベツ業者と生産者を繋ぐことを考えれば、中山間地域の小規模な農家の所得も上がると思うが、何か仕組みを考えたことがあるのかを問う。

定されるとあった。福山市にもため池が多くあり、相当な数が新たに指定される。その後は、ため池自体の是非や補修、防災マップ等の作成があり自治体は莫大な費用が必要となるため、指定された後の交付金等の財政的問題を県としてしっかりと国に言いつて頂き、県内の農業をもう一回再生することを要請する。

まとは豊質疑 次は、空港経営改革推進委員会から県への提言について質問する。現在、広島空港の経営改革に向けた民営化の提言では、2050年ごろには旅客数を300万人から500万人、そして貨物については1万8000トンを2万トンにする目標とあり、この目標に対する県の捉え方と、何を課題整理すればこの大きな目標を達成できると考えているのかを問う。

まとは豊要請 福岡県の調査時も空港の運営権者が県と自治体の協力がなく、大きい目標は達成できないと言っていた。福岡空港を中心にもう一つ都市を作り、外国人観光客の誘客と旅行者以外の人も呼び込む計画と言っていた。ぜひ広島県も運営権者に任ずるだけではなく、空港を中心にした活性化策を考え、自治体の責任として取組むことを要請する。

併せて、特別委員会のシンガポール調査時に、旅行会社の担当が「最近の外国人観光客は日本でのコト消費（体験）を求めており、中国地方であれば、農業・漁業の収穫体験や伝統文化に触れる企画を提供頂けば、多様な旅行パックを商品化できる」とあった。

先日福山で、染料や顔料を取り扱う企業が「染物体験」の工房を新設し、社長曰く「日本の観光客と併せ、外国人観光客に染物に触れてもらいたい」と言われた。考えるに、空港アクセスを通常ルートに拡充と同時に「空港↓宮島、空港↓鞆の浦」の直行便を検討して、その旅程の間にコト消費の企画をパックすればと考えるが、検討を要請する。

県が旗を振り、利便性や交通環境の整備、コト消費の登録制や紹介、農産物のコールドチェーンによる東南アジア輸出等が空港活性化につながると考えるが、検討を要請する。